

「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

住民説明会及び意見交換会

第9回 開催報告

議事概要

対象地域：丘珠連合町内会の地域

開催日時：平成30年11月13日（火）19：00～20：30

開催場所：丘珠ふれあいセンター多目的ホール

（札幌市東区丘珠町183-2）

参加者数：市民44名（地域の方28名、地域以外の方16名）、報道関係者4名

札幌市（事務局）4名、北海道（オブザーバー）1名、

道銀地域総合研究所（事務局）4名

計57名



1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

4. 意見交換

<地域の方より>

○ご意見

【利活用策について】

- ・先日も地震があったが、丘珠空港は防災訓練の拠点にもなり、滑走路延長によってジェットが東京方面に飛ぶようになると、利用者も増え、利便性も上がる。ぜひ延長して便数も増やして運航していただきたい。
- ・滑走路を延長し、活性化が図られることには賛成であり便利になることは大いに結構だ。また、防災の基地としてもとても大切だ。

【空港周辺の環境について】

- ・騒音に関し、現在、航空機の発着のために大変な迷惑を被っている方については、適正な防音対策を施すことが必要だと考える。

- ・人口密集地にあり、いつ事故があるかわからないということも慎重に考えながら検討すべきであり、周辺地域も含めて意見を聞き、検討をお願いしたい。

○ご質問

【利活用の検討の進め方について】

- ・丘珠空港は交通の利便が非常に悪く、交通整備も含めた投資をしなければならないが、人口減少や高齢化、格差の肥大化、子どもの貧困化等の状況があり、札幌のソフト面の課題がたくさんある中、ハード面だけ強化していくことは、将来的に市民に重い負担がかかるものであり、よく検討すべき。また、この検討は1998年の市民合意と矛盾しており、その点を説明していただきたい。

(回答) 道路や鉄路等は線の整備であり、維持経費は大きいですが、空港については基本的に点の整備であって、維持経費は比較的小さいと考える。実際には将来的に札幌のインフラとして何が必要か総合的に考えた上で、検討する必要があると考える。地元案の合意については札幌市として非常に重要なものと考えており、現在はその範囲で利用促進をしている状況だが、1998年当時と環境が変わっている部分もあることから、改めて検討を始めている。ただし、今年や来年に決定するのではなく、市民と議論を丁寧に重ねた上で、延伸の是非等を含めて話していく。

- ・地元案が都合悪くなり、滑走路延長ありきで検討しているように感じるが市民からも要望があったのか。市民の税金を貧困や社会保障、教育に使わずに、将来の見通しもないまま、莫大なお金を注ぎ込むというのは再検討してもらいたい。

(回答) 地元案は重要なものと考えており、経済界を始め、市民から滑走路を伸ばしてほしいという意見があるのは事実だが、それよりも民営化や航空機の性能の向上という環境の変化から、検討しているという状況である。必ずしも滑走路延長ありきではないということを理解していただきたい。

【利活用策について】

- ・滑走路の延長と自衛隊との関係についてももう少し教えてほしい。本当に民間機のためなのかどうか。

(回答) 今回の延長の検討は、自衛隊の利便性ではなく、民間航空機を活性化したらどうかという視点である。自衛隊から伸ばしてほしいという話は伺っていない。陸上自衛隊では、ヘリコプターかセスナ機が飛んでおり、例えばジェット戦闘機は専用の機械や機具が必要となり、千歳のように飛行することは考えにくい。

【空港周辺の環境について】

- ・自衛隊との共同で空港が利用され、民間機が一番安全に運行されなければいけないが自衛隊を優先し、遠慮して使う空港はいかなものか。

(回答) 丘珠空港は元々自衛隊の駐屯地であり、その飛行場で民間航空機を運航しているため、それを切り離して検討するというのは難しい。

- ・東区は人口がやや増加傾向にあり、今は若い子育て世代が家を建てて、静かに暮らしているが、これ程住宅地に近い空港は滅多になく、自衛隊のプロペラ機やページェント等、とにかく騒がしく、子育てをする人達も神経をとがらせ、やや過敏になりながら生活しているところもある。北海道では、災害等で優先して税金を使わなくてはならない中、滑走路延長自体を慎重に検討してほしい。

(回答) ヘリコプター等の音について、騒音調査の中にはヘリの音も含まれており、国の基準を超えない範囲となっている。

【整備に関わる費用について】

- ・滑走路延長の整備費は空港だけに係る経費なのか、周辺整備や交通の問題等は含まれているのか。

(回答) 空港の整備全体と、道路や河川、支障物件等に関わる費用、近辺の用地取得費は入っているが、例えば緑地整備の費用は含まれていない。

【本説明会の運営について】

- ・この運営の仕方は時間が非常に少ない。もっと真剣に意見を聞こうとしたら、遅い時間ではなく、より緻密に意見を聞けるように考えてほしい。

(回答) 今回夜に開催しているのは、仕事帰りの方も来れるようにという意見もあり、それを含めて開催した。今後、住民とお話をする際には時間帯を色々考えたい。来年度以降も、手法は未定であるが、住民の方々と意見交換をする場を予定している。

【その他】

- ・道内7空港の民間委託による丘珠空港への影響について、もう少し具体的に教えていただきたい。

(回答) 例えば、7空港が一括で運営されることで、航空料金がより安くなると、丘珠で路線を増やそうとしても、7空港のネットワークの方が便利だとされ、誘致できなくなる可能性があると考えられる。その他、災害時においても、今回の震災では丘珠空港が新千歳空港の一部代替機能を担っていたが、7空港が連携することによって丘珠空港の役割が変わってくることも考えられる。ただし、実際どのような影響を受けるかは、提案者の事業内容や丘珠空港の位置づけによって変わってくるものであり、その点を見据える必要がある。

<地域以外の方より>

○ご意見

【空港周辺の環境について】

- ・札幌市は、学校の防音工事をしてほしい。全国で航空機騒音訴訟が行われているが、それは環境基準ではなく、受忍限度を超える騒音かどうかで争われている。札幌市は、環境基準ではなく、受忍限度を超える騒音かどうかで判断し、学校、幼稚園、保育園、病院、各施設、住宅に防音工事をする必要がある。

○ご質問

【利活用策について】

- ・地元案という名称は誤りであり、地元が出した案でもないのに地元案というのはおかしい。1996年に北海道と札幌市が丘珠空港のあり方で正式発表した内容では、プロペラ機限定という言葉があったはずだが、この文書にはどこにも書いていない。パンフレットを正確に、過去の経緯をよく確認して作り直してもらいたい。

(回答) 平成10年の説明会において札幌市と北海道で作ったものを提示し、これで地元案でどうかと提示したもので、今でも公式に地元案と考えている。また、その中にはプロペラ機については書いていない。

5. 閉会

以上